

減価償却：理論的償却率による定率法

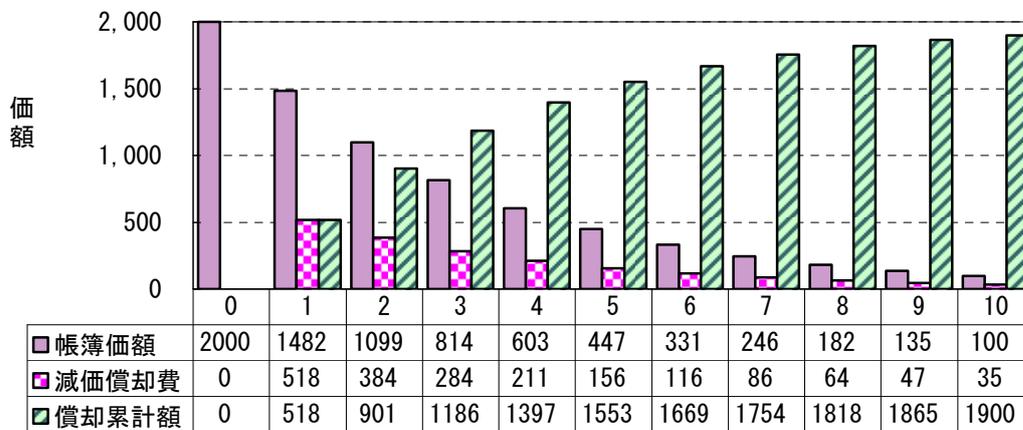
使用、時の経過あるいは陳腐化などの原因により徐々に減価する固定資産（減価償却資産）に適用される費用配分の手続き。 減価償却資産の減価に対応して、当該資産の取得原価から残存価額を差し引いた額（要償却額）をその耐用年数の各期間にわたり費用として配分する会計上の手続き。各期間に配分された費用が減価償却費。

◇定率法の理論的償却率 = $1 - \sqrt[耐用年数]{(残存価額/取得原価)}$

定率法による減価償却



条件：取得原価2000、耐用年数10年、残存価額5%、減価償却率=1-耐用年数 $\sqrt{(残存価額/取得原価)}$ =0.259

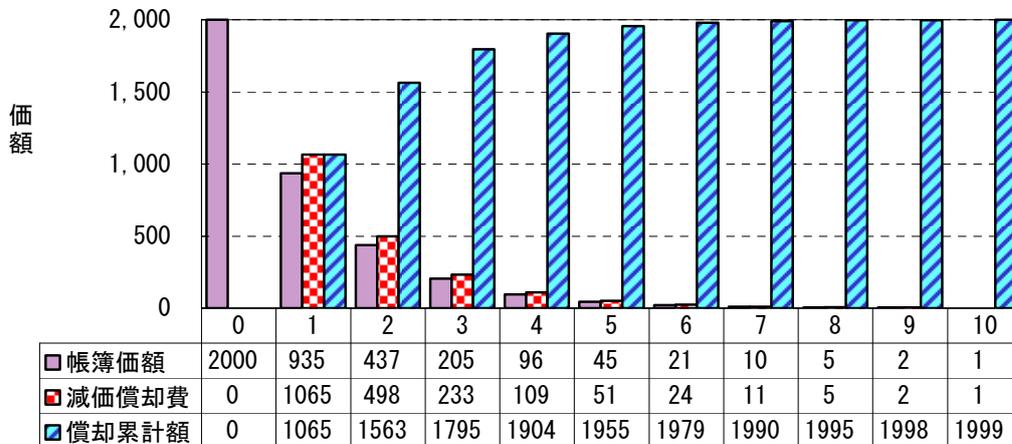


会計年度末

定率法による減価償却



条件：取得原価2000、耐用年数10年、残存簿価 1、減価償却率=1-耐用年数 $\sqrt{(残存価額/取得原価)}$ =0.532



会計年度末